

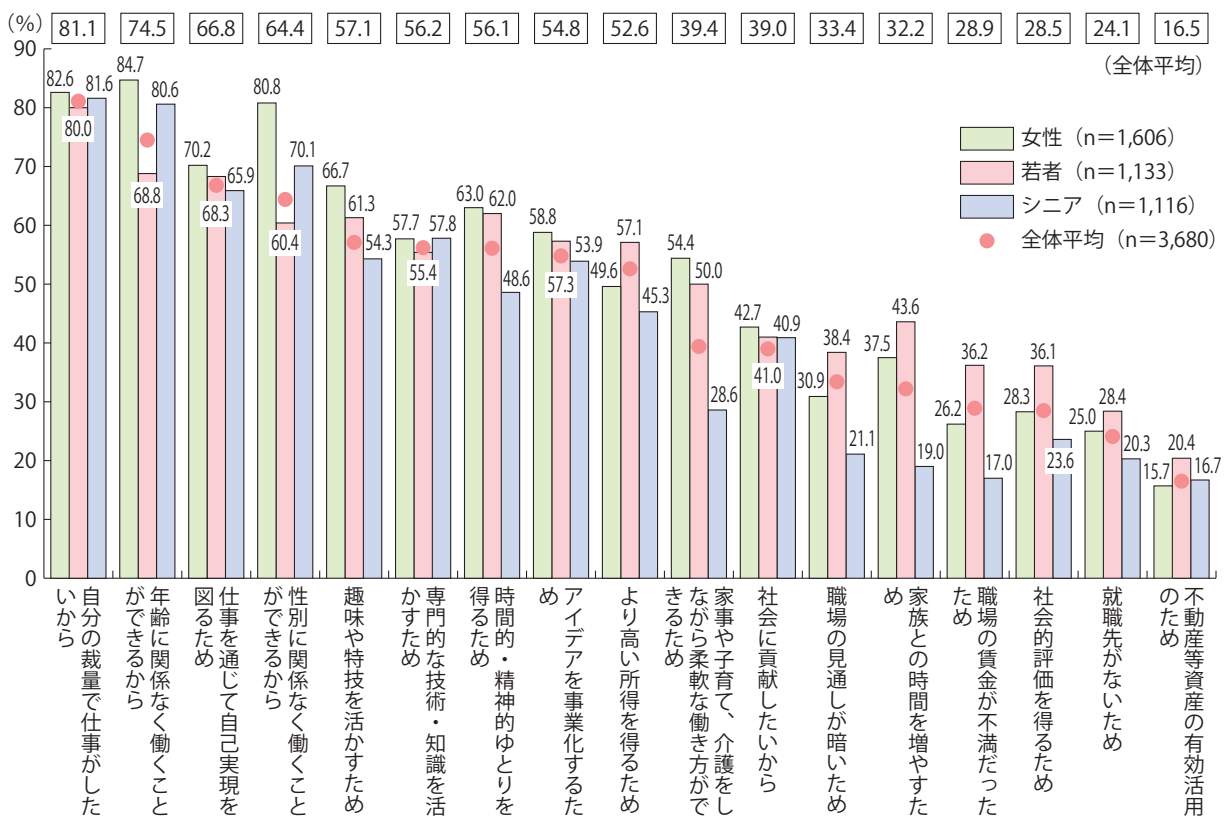
●起業を志した理由

次に、起業に関心を持つ潜在的起業希望者が、どのようにして起業を志し、起業希望者へと段階を進んで行くのかを見てみる。第3-2-14図は、起業を志した理由を調査したものである。全般的に、「自分の裁量で仕事がしたいから」、「年齢に関係なく働くことができるから」、「仕事を通じて自己実現を図るため」と回答する割合が高い一方で、「就職先がないため」、「職場の賃金が不満だったため」と回答する割合は低い。この結果から、我が国においては、現状の就労環境への不満を理由とする消極的な起業に比べて、裁量労働や自己実現といった積極的な理由により起業を志す割合が高いことが分かる。

次に、女性や若者、シニアの特徴を見てみる。

女性起業家の特徴として、「性別に関係なく働くことができるから」、「趣味や特技を活かすため」、「家族や子育て、介護をしながら働けるため」を選択する割合が高く、昔の職務経験や趣味を通して培った技能を活かして、家事と両立しながら起業する傾向が見えてくる。若者では、「自分の裁量で仕事がしたい」が最も高い一方で、「より高い所得を得るため」、「家族との時間を増やすため」といった理由も女性やシニアと比べ高くなっている。一方で、シニアでは、「自分の裁量で仕事がしたい」、「年齢に関係なく働くことができるから」、「性別に関係なく働くことができるから」を選択する割合が比較的に高くなっており、性別や年齢の枠に捉われずに、自分の裁量で働きたいという、シニアの傾向が明らかになった。

第3-2-14図 起業を志した理由



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注) 各項目に対して「当てはまる」と回答した割合を集計している。